創立60周年記念
山口大学の軌跡

2009年丑年、
図書館の展示テーマは
ずばり山口大学創立60周年!!

戦後間もなく国立大学となった
本学の節目を記念して、
様々なパネル展示を開催中。

ともに60年のロマンに
浸りませんか?

1949

1950's

1960's

1970's

1980's

1990's

2000's

2009

6月1日(月)～

創立～1950年代

1949 年 6 月 1 日、山口大学は入学生 600 余名、専任教授 17 名の陣容で産声をあげた。第一回の入学式で、松山基範初代学長は、新生の意気盛んに「真理を探究し、これを応用して社会に貢献する基礎を培うとともに、人格修行の場とされたい」と訓示。

創立当時、各学部はまだ県内の各地に散在していた。

草創期

開学式当日の山口大学

1960年代

高度成長期を遂げた 1960 年代。

所得水準の向上・高等教育熱の高まりなどから、移転による施設の整備拡充が求められていた。1964 年 9 月の評議会において山口市平川地区への統合移転が決定され、下関市にあった農学部移転をはじめとして、平川地区への統合移転が始まった。

整備・拡充期

1968 年　農学部（半分完成）と建設中の文理学部

1975 年　経済学部移転直後の吉田キャンパス

発展期

1970年代

1966 年から開始された平川地区への統合移転は 1973 年の経済学部をもって完了。

統合後は大学院や新たな学科の設置、文理学部の改組などが行われたほか、保健管理センターの設置や埋蔵文化財資料館の開館など、研究や教育のための環境が充実した。

1980年代

バブル経済絶頂期の 1980 年代。経済の発展とともに国際化も進んだ。
山口大学においても国際交流が本格化。1983 年 6 月に「山口大学と山東大学との学術交流協定」を締結した。これにより学術交流は揺るぎないものとなり、東アジアを中心とした地域との学術国際交流の幕開けとなった。

国際化

山東大学との学術交流協定調印式に望む小西学長

学際化

廣中学長　記者会見

1990年代

1991 年の大学設置基準改正を契機に、全国的な規模の大学改革が始まる。山口大学でも、大講座制の導入や学部改組などの教育体制改革の実施、理工学研究科や連合獣医学研究科の新設、全学協力による共通教育体制をめざした共通教育センターの設置など、大学を挙げて学際化に向けて大きく変化していった。

2000年代

2004 年 4 月 1 日、山口大学は国立大学法人として新たなスタートを切った。
法人化を機に、新しいシンボルマークが作られ大学のブランド化も進んでいる。
そして 2009 年。山口大学は創立 60 周年を迎えた。いま大学は地域の基幹総合大学として、個性を生かした魅力的な教育研究へのさらなる発展を期待されている。

特色ある大学へ

法人化にあたり挨拶する加藤学長

1971 年（昭和 46）　教育学部建設中

1979 年（昭和 54）　統合移転後間もない頃

現在

企画・展示：山口大学図書館